



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 株式会社C I J 上場取引所 東
コード番号 4826 URL <https://www.cij.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）坂元 昭彦
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営企画部長 （氏名）森田 高志 TEL 045-222-0555
定時株主総会開催予定日 2026年9月18日 配当支払開始予定日 2026年9月2日
有価証券報告書提出予定日 2026年9月16日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期の連結業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	29,424	9.4	2,619	20.7	2,663	20.8	1,804	20.7
2025年6月期	26,899	4.5	2,170	10.5	2,204	10.6	1,495	57.7

（注）包括利益 2026年6月期 1,828百万円（18.9%） 2025年6月期 1,537百万円（42.5%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	31.96	—	12.2	14.0	8.9
2025年6月期	26.10	—	10.3	11.9	8.1

（参考）持分法投資損益 2026年6月期 ー百万円 2025年6月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	19,394	15,000	77.3	268.68
2025年6月期	18,676	14,516	77.7	256.67

（参考）自己資本 2026年6月期 15,000百万円 2025年6月期 14,516百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	2,048	△213	△1,704	8,344
2025年6月期	1,782	△885	△1,639	8,214

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	7.00	—	8.00	15.00	848	57.5	5.9
2026年6月期	—	10.00	—	10.00	20.00	1,127	62.6	7.6
2027年6月期（予想）	—	10.00	—	11.00	21.00		63.0	

（注）1. 直近に公表されている配当予測からの修正の有無：無

2. 2026年6月期第2四半期末配当金の内訳

普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2026年6月期年間配当金の内訳

普通配当 18円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2027年6月期の連結業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 31,000	% 5.4	百万円 2,750	% 5.0	百万円 2,780	% 4.4	百万円 1,860	% 3.0	円 銭 33.32

（注）現在入手可能な情報に基づき通期の業績予想を開示しております。今後の状況によっては、業績予想を変更する可能性があります。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）インフォテックソリューション株式会社、除外 1社 （社名）－

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2026年6月期	64,798,288株	2025年6月期	66,798,288株
2026年6月期	8,967,804株	2025年6月期	10,241,966株
2026年6月期	56,478,495株	2025年6月期	57,307,292株

（参考）個別業績の概要

1. 2026年6月期の個別業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	16,282	8.7	1,521	34.4	2,247	△16.3	1,802	△24.7
2025年6月期	14,976	2.5	1,132	△4.5	2,686	87.3	2,393	141.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期	31.91	－
2025年6月期	41.77	－

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	17,424	14,827	85.1	265.57
2025年6月期	16,770	14,345	85.5	253.65

（参考）自己資本 2026年6月期 14,827百万円 2025年6月期 14,345百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法等）

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しております。また当社は、2026年8月6日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	13
(重要な後発事象の注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年7月1日～2026年6月30日)におけるわが国経済は、物価上昇や米国の通商政策、金融資本市場の変動、中東情勢等による影響を受けたものの、国内の雇用・所得環境が改善する中で各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復の動きが続きました。

情報サービス産業におきましては、デジタル化の進展を背景に生成AIをはじめとするデジタル技術の活用が、業務の効率化やビジネスモデル変革を推し進める上であらゆる組織にとって重要な要素となっています。このような背景の下、組織の競争力強化を目的としたIT投資は拡大基調に推移しております。

このような経営環境の下で当社グループは、2025年6月期から2027年6月期の3ヵ年にわたる中期経営計画「Become the strategic partner with IT(通称:BEIT50)」を実行しております。本計画では、お客様固有の戦略をもって個々にアプローチを行い、IT企業、一般法人、公共分野など多岐にわたるお客様それぞれに特化したパートナーシップを発揮することで、持続的な成長を目指しております。

経営方針に基づいて取り組みを推進し、当連結会計年度における主な活動・成果は以下のとおりであります。

①事業環境の変化に適応し、新領域へ挑戦

- ・公共分野の事業拡大を図るため、官公庁及び社会インフラ系のシステム開発に豊富な取引実績を有するインフォテックソリューション株式会社を2025年12月1日に連結子会社化しました。
- ・AI駆動開発(システム開発の各工程に生成AIの活用を前提に位置付ける手法)の導入に向け、上流工程への適用拡大も視野に入れつつ、まずは製造・単体テストにおいて開発生産性と品質の向上のための取り組みを開始しました。

②特化型SEの育成推進

- ・グローバルビジネス・デジタルソリューションR&D推進本部が中心となり、これまでの研究成果を基に生成AIを開発プロセスへ適用し実業務にて活用するための技術をグループ全体に共有しました。
- ・顧客への生成AIソリューション展開に向け、RAG(検索拡張生成)技術に特化した実践的なハンズオン研修を実施し技術者の育成に取り組みました。

③サステナビリティ経営の推進

- ・ESG・環境影響を評価開示するプラットフォームであるEcoVadis、CDPへの回答を通じて、TCFDに準拠した情報開示と気候変動対策についての取り組みを継続して実施しました。
- ・サプライチェーン上のパートナーと持続可能な関係を構築するため、調達方針及びサステナビリティ推進ガイドラインの策定並びに、人権デューディリジェンスの実施計画の立案に取り組みました。
- ・企業価値向上と持続的な成長に向けて、事業環境の変化や社会的要請を踏まえた重要課題(マテリアリティ)の特定に取り組みました。

当連結会計年度の連結業績につきましては、公共分野、エネルギー分野の受注が堅調に推移したこと等により、売上高は29,424百万円(前期比9.4%増)となりました。利益につきましては、売上高の増収、及び前期において発生した一部案件の想定を上回るコスト増を当期は抑えられたこと等により前期比で大幅に増加し、営業利益は2,619百万円(前期比20.7%増)、経常利益は2,663百万円(前期比20.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,804百万円(前期比20.7%増)となりました。

当社グループの単一セグメントであります「システム開発及びシステム開発に関連するサービス(システム開発等)」の売上品目別の業績概況は、以下のとおりであります。

①システム開発

公共分野、エネルギー分野の受注が堅調に推移したこと等により、増収となりました。

この結果、本売上品目の売上高は24,936百万円(前期比7.0%増)となりました。

②コンサルティング及び調査研究

情報・通信分野におけるプロジェクト支援や技術支援案件等の受注が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、本売上品目の売上高は1,140百万円(前期比10.3%増)となりました。

③システム/パッケージ・インテグレーション・サービス

公共分野向けのシステム導入支援案件及び福祉総合システムの受注が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、本売上品目の売上高は1,116百万円(前期比30.1%増)となりました。

④その他

情報・通信分野における運用保守案件の受注が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、本売上品目の売上高は2,231百万円(前期比30.7%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ642百万円増加し、14,276百万円となりました。主な要因は、契約資産が59百万円、現金及び預金が10百万円それぞれ減少したものの、売掛金が399百万円、有価証券が246百万円それぞれ増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し、5,118百万円となりました。主な要因は、ソフトウェアが81百万円、投資有価証券が72百万円それぞれ減少したものの、投資その他の資産のその他に含まれている長期前払費用が86百万円、有形固定資産が78百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ717百万円増加し、19,394百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ161百万円増加し、4,160百万円となりました。主な要因は、短期借入金149百万円減少したものの、買掛金が161百万円、その他に含まれている預り金及び未払消費税等が143百万円それぞれ増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、234百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債が57百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ233百万円増加し、4,394百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ483百万円増加し、15,000百万円となりました。主な要因は、自己株式の消却等により資本剰余金が203百万円減少したものの、利益剰余金が625百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

	前連結会計年度 (2025年6月期)	当連結会計年度 (2026年6月期)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,782百万円	2,048百万円	265百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△885百万円	△213百万円	672百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,639百万円	△1,704百万円	△64百万円
現金及び現金同等物の期末残高	8,214百万円	8,344百万円	130百万円

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ265百万円収入が増加し、2,048百万円の収入となりました。主な収入内訳は、税金等調整前当期純利益2,612百万円であります。主な支出内訳は、法人税等の支払額810百万円、売上債権及び契約資産の増加額254百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ672百万円支出が減少し、213百万円の支出となりました。主な支出内訳は、定期預金の預入による支出1,400百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出147百万円であります。主な収入内訳は、定期預金の払戻による収入1,416百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ64百万円支出が増加し、1,704百万円の支出となりました。主な支出内訳は、配当金の支払額1,015百万円、自己株式の取得による支出501百万円であります。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ130百万円増加し、8,344百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
自己資本比率 (%)	82.4	79.5	78.4	77.7	77.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	86.9	135.2	143.6	145.4	141.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	0.2	0.3	0.4	0.4	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	987.2	1,111.3	448.4	351.0	275.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、依然として続く中東情勢をはじめとする地政学的リスクや金融資本市場の変動による影響など、先行き不透明な状況は残るものの、企業のデジタル化を軸とした競争力強化に向けたIT関連の設備投資は、今後も堅調に推移するものと想定されます。

このような経営環境の下、当社グループは継続的な成長を目指し、2025年6月期から2027年6月期までの中期経営計画「BEIT50」を実行しております。強みである安定した顧客基盤を軸に、幅広い分野における事業拡大を目指してまいります。また、当連結会計年度よりグループに加わったインフォテックソリューション株式会社とのシナジーを最大限に発揮し、得意とする公共分野のさらなる深耕と拡大に取り組んでまいります。

これらの施策を踏まえ、2027年6月期の業績予想につきましては、2025年8月6日に公表しました中期経営計画「BEIT50」の見直しをさらに上方修正し、売上高は31,000百万円（前期比5.4%増）、営業利益は2,750百万円（前期比5.0%増）、経常利益は2,780百万円（前期比4.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,860百万円（前期比3.0%増）を見込んでおります。また、1株当たり年間配当金につきましては、前述の業績予想を踏まえ、株主還元のためのさらなる充実を目的とし、普通配当として3円増配の21円を予想しております。

当社グループは、引き続きこれらの目標達成に向け、各種施策を推進してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮の上、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,830,862	8,820,223
売掛金	3,582,323	3,981,994
契約資産	521,004	461,881
有価証券	408,316	655,147
商品及び製品	811	1,872
仕掛品	17,951	17,378
原材料及び貯蔵品	5,473	8,697
その他	266,937	329,413
流動資産合計	13,633,681	14,276,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	421,840	510,574
減価償却累計額及び減損損失累計額	△135,262	△160,551
建物及び構築物（純額）	286,578	350,022
土地	448	458
その他	226,164	256,506
減価償却累計額及び減損損失累計額	△185,373	△201,087
その他（純額）	40,790	55,419
有形固定資産合計	327,817	405,900
無形固定資産		
ソフトウェア	271,380	190,004
のれん	758,061	748,123
顧客関連資産	165,300	147,900
その他	21,120	22,505
無形固定資産合計	1,215,862	1,108,534
投資その他の資産		
投資有価証券	2,363,978	2,291,145
繰延税金資産	285,086	297,767
その他	856,229	1,021,412
貸倒引当金	△5,810	△6,636
投資その他の資産合計	3,499,483	3,603,688
固定資産合計	5,043,163	5,118,122
資産合計	18,676,844	19,394,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	978,586	1,140,053
短期借入金	620,004	470,004
1年内返済予定の長期借入金	10,008	10,008
未払金	666,898	631,709
未払法人税等	492,121	506,503
契約負債	86,542	73,180
賞与引当金	475,764	510,998
受注損失引当金	—	7,678
品質保証引当金	12,421	8,516
その他	656,542	801,465
流動負債合計	3,998,890	4,160,116
固定負債		
長期借入金	17,474	7,466
退職給付に係る負債	43,685	101,204
その他	100,347	125,574
固定負債合計	161,506	234,244
負債合計	4,160,397	4,394,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,270,228	2,270,228
資本剰余金	2,667,151	2,463,704
利益剰余金	11,648,434	12,273,883
自己株式	△2,334,732	△2,296,756
株主資本合計	14,251,081	14,711,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,062	281,113
為替換算調整勘定	8,303	8,198
その他の包括利益累計額合計	265,366	289,311
純資産合計	14,516,447	15,000,370
負債純資産合計	18,676,844	19,394,731

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	26,899,791	29,424,871
売上原価	21,278,391	23,037,842
売上総利益	5,621,399	6,387,028
販売費及び一般管理費		
役員報酬	354,900	406,606
給料及び手当	1,055,698	1,141,582
賞与引当金繰入額	73,520	84,184
福利厚生費	258,603	301,950
支払手数料	233,879	255,350
募集費	95,657	88,302
減価償却費	95,068	106,826
賃借料	295,987	296,222
のれん償却額	103,965	147,500
その他	883,738	939,417
販売費及び一般管理費合計	3,451,019	3,767,944
営業利益	2,170,380	2,619,083
営業外収益		
受取利息	25,910	37,088
受取配当金	16,337	21,813
助成金収入	7,519	13,298
為替差益	1,461	—
その他	7,431	10,514
営業外収益合計	58,659	82,714
営業外費用		
支払利息	4,785	7,409
長期前払費用償却	15,191	24,061
為替差損	—	1,876
その他	4,721	5,435
営業外費用合計	24,697	38,783
経常利益	2,204,341	2,663,015
特別利益		
保険解約返戻金	7,351	2,519
投資有価証券売却益	39,553	940
固定資産受贈益	—	733
特別利益合計	46,905	4,194
特別損失		
投資有価証券売却損	—	18,539
固定資産除却損	—	20,803
投資有価証券評価損	4,928	—
出資金評価損	—	15,416
特別損失合計	4,928	54,759
税金等調整前当期純利益	2,246,318	2,612,449
法人税、住民税及び事業税	771,577	805,148
法人税等調整額	△21,020	2,327
法人税等合計	750,556	807,476
当期純利益	1,495,762	1,804,973
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,495,762	1,804,973

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益	1,495,762	1,804,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,420	24,050
為替換算調整勘定	△1,305	△105
その他の包括利益合計	42,114	23,945
包括利益	1,537,876	1,828,918
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,537,876	1,828,918
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,270,228	2,550,925	11,190,556	△1,725,939	14,285,770
当期変動額					
剰余金の配当			△1,037,884		△1,037,884
親会社株主に帰属する当期純利益			1,495,762		1,495,762
自己株式の取得				△700,748	△700,748
自己株式の処分		12,579		1	12,581
株式交換による増加		103,646		91,953	195,600
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	116,225	457,878	△608,793	△34,689
当期末残高	2,270,228	2,667,151	11,648,434	△2,334,732	14,251,081

	その他の包括利益 累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	213,642	9,609	223,251	14,509,022
当期変動額				
剰余金の配当				△1,037,884
親会社株主に帰属する当期純利益				1,495,762
自己株式の取得				△700,748
自己株式の処分				12,581
株式交換による増加				195,600
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	43,420	△1,305	42,114	42,114
当期変動額合計	43,420	△1,305	42,114	7,425
当期末残高	257,062	8,303	265,366	14,516,447

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,270,228	2,667,151	11,648,434	△2,334,732	14,251,081
当期変動額					
剰余金の配当			△1,021,155		△1,021,155
親会社株主に帰属する当期純利益			1,804,973		1,804,973
自己株式の取得				△500,570	△500,570
自己株式の処分		94,183		82,546	176,730
自己株式の消却		△456,000		456,000	—
自己株式処分差損の振替		158,369	△158,369		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△203,447	625,449	37,976	459,977
当期末残高	2,270,228	2,463,704	12,273,883	△2,296,756	14,711,058

	その他の包括利益 累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	257,062	8,303	265,366	14,516,447
当期変動額				
剰余金の配当				△1,021,155
親会社株主に帰属する当期純利益				1,804,973
自己株式の取得				△500,570
自己株式の処分				176,730
自己株式の消却				—
自己株式処分差損の振替				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	24,050	△105	23,945	23,945
当期変動額合計	24,050	△105	23,945	483,922
当期末残高	281,113	8,198	289,311	15,000,370

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,246,318	2,612,449
減価償却費	153,275	164,035
のれん償却額	103,965	147,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	737	826
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,815	21,849
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,686	5,382
投資有価証券売却損益 (△は益)	△39,553	17,599
受取利息及び受取配当金	△42,247	△58,901
支払利息	4,785	7,409
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	62,321	△254,072
棚卸資産の増減額 (△は増加)	65,122	△3,711
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,996	64,906
未払金の増減額 (△は減少)	△126,070	△151,037
その他	110,264	233,739
小計	2,552,051	2,807,977
利息及び配当金の受取額	39,760	58,393
利息の支払額	△5,078	△7,430
法人税等の支払額	△803,960	△810,911
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,782,772	2,048,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,503,000	△1,400,354
定期預金の払戻による収入	1,402,035	1,416,000
有形固定資産の取得による支出	△11,616	△92,250
有形固定資産の売却による収入	8,791	—
無形固定資産の取得による支出	△35,091	△38,497
投資有価証券の取得による支出	△300,000	△600
投資有価証券の売却による収入	41,996	78,439
保険積立金の解約による収入	7,351	2,519
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△470,157	△147,357
その他	△26,044	△31,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△885,734	△213,493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,001	△150,000
長期借入金の返済による支出	△5,838	△10,008
自己株式の取得による支出	△701,814	△501,320
配当金の支払額	△1,031,698	△1,015,902
その他	3	△26,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,639,345	△1,704,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,073	△261
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△743,380	130,064
現金及び現金同等物の期首残高	8,958,242	8,214,862
現金及び現金同等物の期末残高	8,214,862	8,344,926

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは「システム開発及びシステム開発に関連するサービス（システム開発等）」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
S C S K株式会社	2,934,007千円	システム開発等

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは「システム開発及びシステム開発に関連するサービス（システム開発等）」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	256円67銭	268円68銭
1株当たり当期純利益	26円10銭	31円96銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,495,762	1,804,973
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,495,762	1,804,973
普通株式の期中平均株式数(株)	57,307,292	56,478,495

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	14,516,447	15,000,370
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
(うち非支配株主持分)(千円)	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	14,516,447	15,000,370
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	56,556,322	55,830,484

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。